

## 算数オンライン塾 11月7日の問題 一文章題一

あるカーナビゲーションシステムには、現在いる地点から先の地点まで道のりを表示する機能があります。ここで、道のりの単位は km とし、整数で表されるものとします。

さて、このシステムで表示された道のりと実際の道のりには、以下のような誤差があります。

実際の道のりは、表示された道のりの 10 分の 1 倍を小数にしたとき、小数点以下を切り捨てただけの誤差がある。

例えば、

・「10km」と表示されたときは、10 を 10 分の 1 倍した値が 1 となるので誤差は 1km となり、実際の道のりは 9km 以上 11km 以下です。

・「25km」と表示されたときは、25 を 10 分の 1 倍した値が 2.5 となるので誤差は 2km となり、実際の道のりは 23km 以上 27km 以下です。

・「9km」と表示されたときは、9 を 10 分の 1 倍した値が 0.9 となるので誤差は 0km となり、実際の道のりは 9km です。

となります。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) A 地点から B 地点を通り C 地点に向かいました。

① A 地点を出発するとき「A 地点から C 地点までの道のりが 48km」と表示が出た場合、A 地点から C 地点までの実際の道のりとして考えられるものの最小の値と最大の値を求めなさい。

② A 地点を出発するとき「A 地点から B 地点までの道のりが 15km」、B 地点を通過するとき「B 地点から C 地点までの道のりが 30km」と表示が出た場合、A 地点から C 地点までの実際の道のりとして考えられるものの最小の値と最大の値を求めなさい。

③ A 地点を出発するとき「A 地点から B 地点までの道のりが 15km、A 地点から C 地点までの道のりが 48km」、B 地点を通過するとき「B 地点から C 地点までの道のりが 30km」と表示が出たとき、つまり①、②の両方が成り立つとき、A 地点から C 地点までの実際の道のりとして考えられるものの最小の値と最大の値を求めなさい。

(2) 数日後 A 地点から B 地点、C 地点、D 地点を順に通って E 地点へ向かいました。実際に走ったとき、それぞれの地点で次の表示が出ました。

A 地点を出発するとき：「A 地点から B 地点までの道のりが 15km、A 地点から C 地点までの道のりが 48km」

B 地点を通過するとき：「B 地点から C 地点までの道のりが 30km」

C 地点を通過するとき：「C 地点から D 地点までの道のりが 45km、C 地点から E 地点までの道のりが 100km」

D 地点を通過するとき：「D 地点から E 地点までの道のりが 60km」

このとき、A 地点から E 地点までの実際の道のりとして考えられるものの最小の値と最大の値を、式や考え方を書いて求めなさい。

## 算数オンライン塾 11月7日の問題 一文章題一

(3) さらに数日後、同じ経路で A 地点から E 地点へ向かいました。実際に走ったとき、それぞれの地点で次の表示が出ました。

A 地点を出発するとき：「A 地点から B 地点までの道のりが 15km,  
A 地点から C 地点までの道のりが 48km」

B 地点を通過するとき：「B 地点から C 地点までの道のりが 30km,  
B 地点から D 地点までの道のりが 80km」

C 地点を通過するとき：「C 地点から D 地点までの道のりが 45km,  
C 地点から E 地点までの道のりが 100km」

D 地点を通過するとき：「D 地点から E 地点までの道のりが 60km」

このとき、A 地点から E 地点までの実際の道のりとして考えられるものの最小の値と最大の値を求めなさい。

【式と考え方】

(1)	①	最小		km	最大		km
	②	最小		km	最大		km
	③	最小		km	最大		km
(2)	最小		km	最大		km	
(3)	最小		km	最大		km	